

② 空間装飾実習					
科目名	空間装飾実習				
担当教員	渡部 和久		実務授業の有無		
対象学科	インテリアデザイン科2年 空間プロデュースコース	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	空間の装飾・演出の基礎を学ぶ。テーマに合わせた空間演出を課題を通してトレーニングする実習 1. 説明→プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した製作の進め方の基本を理解する。 4. 校外授業として実際のイベント実習を行い、評価、解説する。				
学習目標 (到達目標)	空間装飾に関する様々な知識を学び、それを実行する能力を身につける。空間をデザインする能力、壁紙などのシート状を壁面に張り付ける能力、下地の木地を作成できる能力などを実践していく。実際の現場(夏フェスや校内)などでできるチャンスがあれば積極的にチャレンジする。ディスプレイ実習で学んだことの総合演習となる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布プリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	壁下地の制作 ①壁紙を貼るための木製下地を制作。 ②木の切り方やビスうちなどの基本		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の作成。制作の過程や基本が理解できている。準備学習：プリントを見ながら、手順を練習する。		
2	壁紙張り ①下地に壁紙を貼る ②下地に吸い込み止めのシーラーの用途の知識、貼り方の基本、継ぎ合わせの技術、壁紙の補修方法など学ぶ。		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の作成。制作の過程や基本が理解できている。準備学習：プリントを見ながら、手順を練習する。		
3	装飾実習1 ①夏フェスでの学校ブースの装飾 装飾案→具現化していく。朱鷺メッセでの現場実習		方法：作成方法の説明と解説し、校外課題の作成。制作の過程や基本を理解し、制作のスケジュール管理ができています。準備学習：プリントを見ながら、手順を練習する。		
4	装飾実習2 ①A棟5階ホールの装飾案 5階ホールの装飾案計画→具現化(後期まで)		方法：作成方法の説明と解説し、校外課題の作成。制作の過程や基本を理解し、制作のスケジュール管理ができています。準備学習：プリントを見ながら、手順を練習する。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
提出課題で評価する。 課題提出80%、課題取組状況10% 出席率10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			インテリアコーディネーターやデコレーターは仕事柄、空間把握能力などが問われる職種であるため、基本習得が重要。また、繰り返し行うことでポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、個別指導を含め、十分な解説を行う。後半には、実際の店舗での実習のためマナーやスケジュール管理にも留意する。		
実務経験教員の経歴					

② 空間装飾実習					
科目名	空間装飾実習				
担当教員	渡部 和久		実務授業の有無		
対象学科	インテリアデザイン科2年 空間プロデュースコース	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択必修	単位数		時間数	96時間
授業概要、目的、授業の進め方	空間の装飾・演出の基礎を学ぶ。テーマに合わせた空間演出を課題を通してトレーニングする実習 1. 説明→プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した製作の進め方の基本を理解する。 4. 校外授業として実際のイベント実習を行い、評価、解説する。 5. 装飾企画に対応した、家具やオブジェなどのオリジナル制作も行う				
学習目標 (到達目標)	空間装飾に関する様々な知識を学び、それを実行する能力を身につける。空間をデザインする能力、壁紙などのシート状を壁面に張り付ける能力、下地の木地を作成できる能力などを実践していく。ディスプレイ実習で学んだことの総合演習となる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①配布プリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	装飾実習2 A棟5階ホールでの装飾案を考える ①5階ホールの装飾案 ②後期に具現化まで行けるようデザイン出し。		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の作成。テーマにあった企画が理解できている。準備学習：プリントを見ながら、手順を練習する。		
2	壁面装飾パネル製作 ①900×900程度の木下地の板に木製品壁面オブジェ装飾		方法：作成方法の説明と解説し、課題の制作。制作の過程や基本が理解できている。準備学習：プリントを見ながら、手順を練習する。		
3	Re-boardによるミニチュア家具の制作 ①テーブルなどの製品を制作		方法：作成方法の説明と解説し、課題の作成。制作の過程や基本が理解できている。準備学習：プリントを見ながら、手順を練習する。		
4	木製品による家具製作 ①校内に残るテーブル、棚などの家具を製作		方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の作成。制作の過程や基本が理解できている。準備学習：プリントを見ながら、手順を練習する。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
提出課題で評価する。 課題提出80%、課題取組状況10% 出席率10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			インテリアコーディネーターやデコレーターは仕事柄、空間把握能力などが問われる職種であるため、基本習得が重要。また、繰り返し行うことでポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、個別指導を含め、十分な解説を行う。後半には、実際の店舗での実習のためマナーやスケジュール管理にも留意する。		
実務経験教員の経歴					